



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
36
2018.10

TOPIC

第9回全国看護学生作文コンクール入賞

平成30年6月9日(土)東京駅日本橋口前にある(株)さわ研究所東京校で第9回 全国看護学生作文コンクールの表彰式が行われました。2,200作品を超える応募の中から平成29年度卒業生が、読売新聞社賞、さわ研究所賞、佳作に入選しました。また、1次審査通過作品が最多として本校が最優秀団体賞を受賞しました。受賞した学生は、実習で出会った患者さんを思い出しながら、ずっしりとしたトロフィーを手に受賞を喜んでいました。

(専任教師：中林 朝香)

左から 中林 朝香：最優秀団体賞
読売新聞社賞
さわ研究所賞



行事予定(平成30年10月~平成31年3月)

9月 30日(日) オープンキャンパス
10月 1日(月) 後期授業開始
18日(木) クラスI・II トレーニングセンター
26日(金) クラスI 戴帽式・戴帽を祝う会
31日(水) 関西看護学生看護研究大会
クラスIII発表・クラスII聴講
11月 10日(土) 平成31年度社会人入試
22日(木) 球技大会

12月 2日(日) 災害拠点病院研修 クラスI参加
25日(火)~1月6日(日) 全クラス 冬季休業
1月 23日(水)・24日(木) 平成31年度一般入学試験
25日(金)~2月13日(水) クラスI 基礎看護学実習II
2月 17日(日) 第108回看護師国家試験
18日(月)~ クラスII 領域別実習開始
3月 6日(水) 卒業を祝う会
8日(金) クラスIII 卒業式
20日(水)~4月3日(水) 全クラス 春季休業
22日(金) 第108回看護師国家試験合格発表



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」「安楽」を第一とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心をもち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

🏠 第2回 ホームカミングデー

第2回ホームカミングデー開催 平成30年8月8日(水)

社会人となった卒業生が、母校に帰ってリフレッシュし、職場環境適応の一助となることを願い始まったホームカミングデー。今年は新卒9名が帰って来てくれました。大雨警報発令による日程変更の影響で、残念ながら少人数開催となりましたが、クラスメイトや教員と近況を語り合い、話が尽きることなく、楽しいひと時になりました。リフレッシュしにいつでも帰って来て下さいね。

(専任教師:小野 真弓)

ホームカミングデーに参加して

私はホームカミングデーに参加することができてよかったと思います。私は就職した職場に同期の看護師がおらず、上手く看護できず落ち込んでしまうこともありました。その中でホームカミングデーに参加して先生や同級生に会うことができ、みんなも同じように悩みながらも頑張っていることを知って、自分だけじゃないのだと安心するとともに自分も看護を頑張ろうと改めて思うことができました。

(多可赤十字病院)



🌿 学生作文コンクール校内賞受賞式 🌿

昨年より学内で学校長賞、事務部長賞、教職員賞を選考しています。

学校長賞 : 「教科書に載っていない看護」

事務部長賞 : 「たった一言」

教職員賞 : 「大切な時間」

今回看護学生作文コンクール校内賞「事務部長賞」を頂き、嬉しい気持ちと同時に改めて気の引き締まる思いです。私は家族の闘病生活を家族と共に支え、いつも暖かく声をかけてくださった看護師の姿に心打たれ、この道を志しました。看護師としてまだまだ未熟ではありますが、目の前の患者や家族の思いを大切にしながら、寄り添い支えることが出来るよう、これからも日々精進していきたいです。

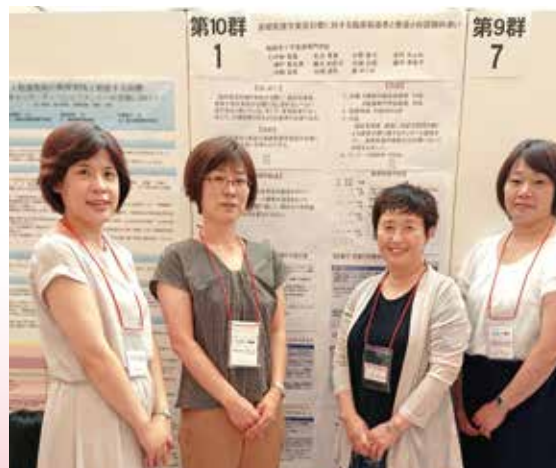
(7階西病棟)



学会発表 日本看護学会 —看護教育—

平成30年8月16日(木)・17日(金)日本看護学会-看護教育-が広島国際会議場で開催され、「基礎看護学実習目標に対する臨床指導者と教員との認識の違い」をテーマに発表しました。発表を通して、改めて実習環境に恵まれている事を実感しました。今後も臨床指導者と協力しながら、学生のこころに残る、学びある実習を目指していきたいと思います。

(専任教師:中林 朝香)



本社研修



平成30年7月1日(日)

私は、赤十字看護専門学校本社学生研修を通して多くのことを学びました。研修には全国の赤十字看護専門学校からたくさんの看護学生が集っており、「赤十字の一員として何ができるか」というテーマを元に意見交換を行いました。これについては事前にクラス内で話し合いを行っていたのですが、その他にも様々な視点からたくさんの意見が飛び交い、よい刺激を受けました。それだけでなく、看護師になるという共通の目標を抱えている学生同士で様々な話をするのもでき、改めて初心に戻るよい機会になりました。

(クラスII)



新コーナー

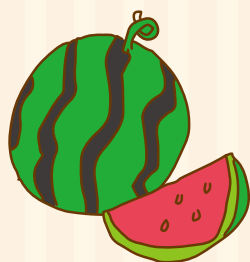
看護学生 ☀ のある1日

とある1日をみなさんに
紹介します ☺



この日は、ケーススタディについて先生と話をした後に、学校に残って勉強をしました。ケーススタディをまとめながら国家試験の勉強をすることは大変ですが、息抜きもして毎日充実しています。

(クラスIII)



自転車登校の看護学生です！毎日景色を見たり、道中たくさんいる野良猫を見て癒されています。友達と楽しく会話しながら登校できるのは自転車通学の特権です。雨にも負けず風にも負けずこれからも楽しく通学します！

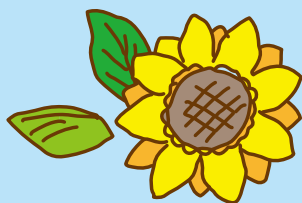
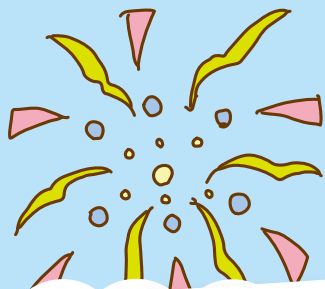
(クラスII)



夏休みに、実習メンバーと一緒に大阪天神祭のボランティアに参加しました。ボランティアに参加した人たちと話をしたり、ごみを捨てに来てくれた人たちと話をしたりして、とても楽しかったです!!! 来年も機会があれば、参加しようと思います!

(クラスI)



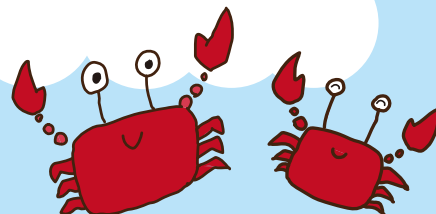


夏休みの



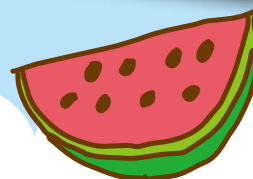
夏休み初日、クラスみんなでバーベキューをしました。ベッドメイキングのテストもみんなで無事合格した後だったので、心置きなく楽しむことができました。普段の学校生活では見られないみんなの表情や行動を見ることができました。夏休み初日からすごく楽しい思い出となりました。

(クラスI)



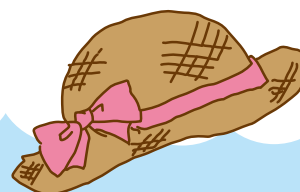
夏休み中、私は学校の友達と姫路セントラルパークへ遊びに行きました。朝から、遊園地とプールの両方で遊び、充実した1日を過ごすことが出来ました。この日は、気温も高く、暑かったですが、よいリフレッシュが出来ました。

(クラスII)

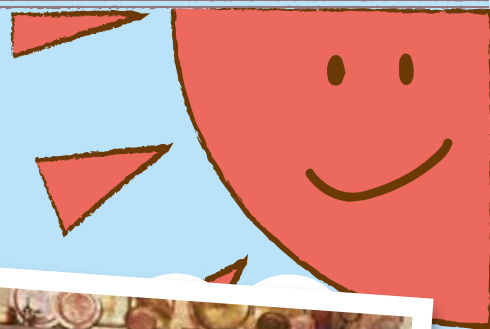
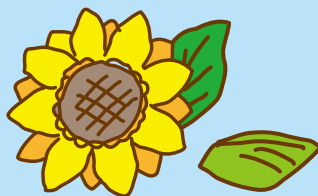


私は友達と脱出ゲームに行きました！ハンターとして4人で協力して、謎を解き、無事脱出することが出来ました！今回の脱出ゲームのように、実習・国試をクラスみんなで協力して乗り越えていきたいと思います！

(クラスIII)

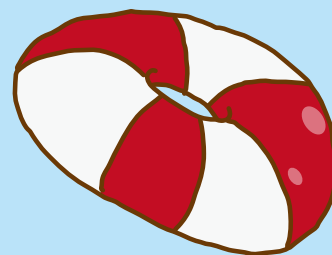
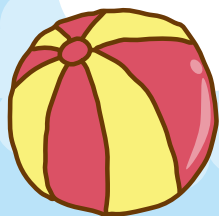


思い出



妹と2泊3日で東京旅行に行ってきました。1日目はディズニーシー、2日目はディズニーランド、3日目は観光・好きなアーティストのコンサートと、とても充実した旅行でした！姉妹旅行は始めてで1ヶ月くらい前からおそろいの服を考えたり買いに行ったりして旅行前からとても楽しみでした。お互いの行きたいところや食べたいものを制覇し、とても充実した旅行になりました。平成最後の夏にとってもよい思い出が出来ました！

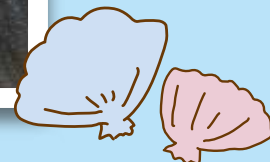
(クラスII)



みなさん充実した
夏休みが過ごせたようですね!!
これから切りかえて頑張っ
ていきましょう☆

私たちは8月1日に大阪の鶴橋に行きました。鶴橋といえば、コリアンタウン!!ということで、ランチにはチーズダッカルビ、デザートにはソルビンという名のカキ氷を食べました。とても美味しかったです！その他にも韓国ならではの飲み物やファーストフード、化粧品を買って、実際に韓国に行った気分を味わうことが出来ました！次は本場の韓国に旅行しに行きたいです☆

(クラスI)



兵庫県看護功績賞授賞

このたび、平成30年度兵庫県看護功績賞を受賞することができましたことに喜びと感謝の気持ちで一杯です。多くの人の支えがあったからこそこの受賞だと思っています。約30年看護基礎教育に携わってまいりました。看護専門学校の3年間、学生達がめざましい成長をする場にいる幸せを感じ、卒業生が元気に看護職として働いている姿を見ることに喜びを感じています。

授与式後の朝礼で、学生達からサプライズでお祝いのメッセージの色紙を頂きました。とても嬉しかったです。学生の皆様が素敵な看護師に育っていかれることを心より願っています。

(副学校長：柳 めぐみ)



✚ 赤十字科目を受講して

講義では、赤十字の理念・諸原則、社会的役割を学習し、学校で求められる看護教育を考える機会となりました。演習では、災害看護に対する実践力を高める目的で、d-ERU(国内型緊急対応ユニット：仮設診療所)の展開や災害を想定した訓練を行い、超急性期の救護活動の実際をイメージすることができました。また、全国の赤十字施設から看護師が受講に来ているため、交流を図る機会にもなり情報交換ができました。この経験を今後の教育活動に活かしていきたいと思います。

(教務助手：中植 宏美／写真中央)



📖 2018年度「 Bangladesh 看護臨地実習」の研修

昨年に引き続き、JICA関西より研修員9名が来校されました。この研修の目的は「研修で得た知見を活かして、帰国後、学士看護師の教育の一環として実施される臨地実習の実施方法、運営方法、関係者間のコミュニケーション等の計画を改善する」ことでした。

当日は、看護専門学校の教育についての講義、模型やシミュレーター実習教材の体験、総合周産期母子医療センターを見学され、「母国の看護教育に活かす」と感想を述べられました。

(副学校長補佐：坂本 佳代子)



授業参観 (ケーススタディ)



● ケーススタディ発表

8月31日、ケーススタディの発表を行いました。多くの文献を読み、担当の先生と語り合うことで、自らの行った看護について振り返ることが出来ました。まとめた内容を分かりやすく伝えるために、どうすれば良いのか沢山悩みました。しかし発表後に意見を頂き、上手く伝えられたのだと実感できた時はとても嬉しかったです。またクラスメイトの発表を聞き様々な考え方や学びを知ることが出来たので、今後の自らの看護に活かしていきたいと思います。

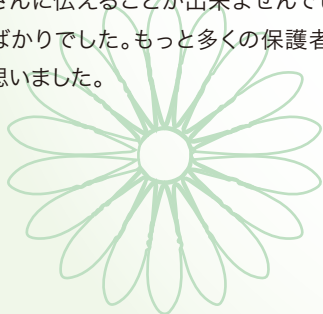
(クラスⅢ)



● 授業参観に参加して

8月31日のケーススタディ発表の授業参観に参加させて頂きました。どの生徒さんも患者さんだけでなく、ご家族の方の心のケアまでも考え実行していることに心打たれました。そのことを参観の時に言いたかったのですが、感極まり涙してしまい皆さんに伝えることが出来ませんでした。本当に素晴らしい発表ばかりでした。もっと多くの保護者の方に聴いてもらいたいと思いました。

(クラスⅢ保護者)



講師紹介

姫路赤十字病院 救急看護認定看護師

清水 智恵

災害看護論の講義を担当しています。今年は、地震・台風・水害など、過去に前例のない災害が発生し、各地が多くの被害を受けました。自然災害大国の日本は、近い将来必ず起きると言われる大規模災害に備える必要があります。災害に備え、自分達に起こりうる状況をイメージすることは、自らの命を守ることに繋がります。この講義を通して、災害時の困難さを軽減できるように知識を身につけ、実践に移すための基礎を作る機会を提供したいと考えています。よろしくお願い致します。



オープンキャンパス



ふれあい看護体験



6月3日(日)
8月5日(日)
8月6日(月)
8月7日(火)
9月30日(日)



7月26日(木)、27日(金)



トライやるウィーク



5月31日(木)
6月6日(水)



平成31年度 入学試験のお知らせ

社会人入試

試験日程:平成30年11月10日(土)

願書受付:平成30年10月15日(月)~平成30年10月29日(月) 消印有効

一般入試

試験日程:平成31年1月23日(水)・1月24日(木)

願書受付:平成30年12月17日(月)~平成31年1月10日(木) 消印有効

▶ 詳しくは学校ホームページをご覧ください。<http://himeji.jrc.or.jp/school/>

編集後記

感情を強く揺さぶられた記憶やうまくいかなかった記憶は、長く残るという。学生には学んだ知識を使って患者を理解するために、今学習している知識を長期記憶として定着させてほしい。そのためには、海馬を刺激するだけでなく、扁桃体を刺激する必要があるという。単純な暗記作業の中で、感情が揺さぶられることは少ないと思うので、この場合は繰り返し覚えなおすしかないのだろうか。試験勉強のためだけの暗記ではなく、患者を理解する手段とするためにも、学んでほしい。

そして、臨地実習での受け持ち患者との関わりは、学生にとって忘れられない経験として、深く刻まれて残るはずである。

(専任教師:名村 かよみ)